事例No.	2670
公表年度	R5
団体の属性	その他
団体名	新潟県立佐渡中等教育学校佐渡を豊かにする「中等生PROJECT」

事例区分	地域活性化

タグ	・移住定住 ・人材確保・育成 ・関係人口

事例種類	人材確保・育成

事例内容・タイトル

新潟県立佐渡中等教育学校佐渡を豊かにする「中等生PROJECT」

出典

平成30年度ふるさとづくり大賞事例集

団体表彰

新潟県立佐渡中等教育学校　佐渡を豊かにする「中等生PROJECT」新潟県佐渡市

定住促進　コミュニティ　産学官連携

概　要

生徒たちが、島の課題とビジョンを主体的に考え、地域の大人と一緒に、アイディアをカタチにする実践型の学習プログラムを構築した。本プログラムはビジョン設計・ビジネス設計・プレゼンテーション・実施・成果発表のプロセスからなり、今までになかったものを自分たちで創り出し、佐渡を豊かにするPROJECTを実現している。

島内の高校生は卒業すると、その多くが佐渡の魅力を十分に知らないまま島外に進学してしまい、若年層の流出が続いている。このプログラムは、島を離れても、ふるさととの関係・つながりを保ち、将来的に地域を盛り上げてくれる人材を育成する事を目的としている。



【着物×自然　学校風のカフェ空間を演出】

評価された点

・高校生が自分たちのふるさとの魅力を再発見し、誇りを持つきっかけとなる非常にユニークな取組み。平成29年に始まったばかりの活動ではあるが、地域のボランティアの大人がプロジェクトをサポートし、資金も、募金や協賛金で賄うなど地元を何とかしたいという地域住民の自発的取組みであり、今後の一層の展開が期待される。
・将来を担う子どもたちに郷土愛や島づくりへの参画意識、地域の人々への感謝の気持ちが生まれるとともに、地域の人々も子供たちの行動力に刺激を受けて協働するようになるため、主体性や協働性の高い取組となっている。また、生徒がプロジェクトを実現させるためのプロセスやサポート体制も明確になっており、評価に値する。
・ユニークで実践的なプロジェクトであり評価できる。
・若い世代が自分たちの地域を再発見するいい機会になっている。ゆるやかに、そして幅広く地域が巻き込まれている。
・日常の地域の暮らしと一体となって、「島民の声」に応えながら進められており、若い力の呼び起こす活動の反響は大きく島民の心を動かしている。
・若者が島外に出てしまう中、島の中で豊かさを実感できることはすばらしい。何もないところから何かをしようとする変化が生まれつつあることが評価できる。



【地元シェフや農家の協力の下、
佐渡産イチゴのメニューを考案】